

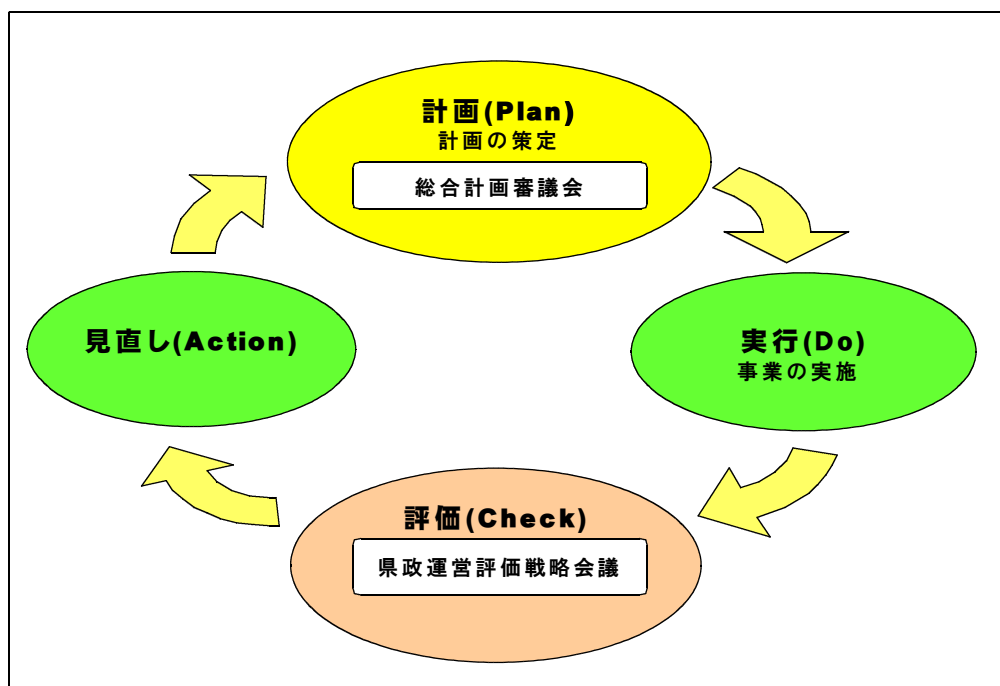
「いけるよ！徳島・行動計画」評価結果概要

1 県政運営評価戦略会議について

行動計画の評価については、県民目線からのチェック機能の強化を図るため、行動計画の策定・推進から評価までを担っていた「徳島県総合計画審議会」の評価部門を切り分け、平成23年10月から、新たに設置した第三者機関である「県政運営評価戦略会議」において実施している。

この県政運営評価戦略会議で協議された評価結果は、徳島県総合計画審議会に提言され、次年度の行動計画や既存事業の見直し、新たな施策展開などに繋げていくこととしている。

また、県政運営評価戦略会議においては、「とくしま目安箱」や「わくわくトーク」に寄せられた県民からの意見・提言について、優れたものを選定し、徳島県総合計画審議会に提言することにより、県民意見の県政への積極的な反映を図る役割も担っている。



2 今年度の事業評価

(1) 開催状況

今年度の戦略会議は、7月31日の第1回会議を皮切りに8月29日まで、基本目標ごとに7回にわたり開催した。

(2) 評価対象

昨年度に引き続き、今年度も、「いけるよ！徳島・行動計画」に位置付けられた主要事業（744事業）の全てを対象とした。

(3) 評価方法

今年度は、「いけるよ！徳島・行動計画」の前半2年間で終了したことから、中間評価として実施することとし、「H23・H24年度の取組内容及び成果」と「今後の取組方針」の2つの視点から評価することとした。

評価方法としては、あらかじめ、担当部局が作成した主要事業（事業概要）ごとの「評価シート」に基づき、委員の代表者が作成した「評価案」について、戦略会議の場で議論した上、「評価結果」として取りまとめるという方法で行った。

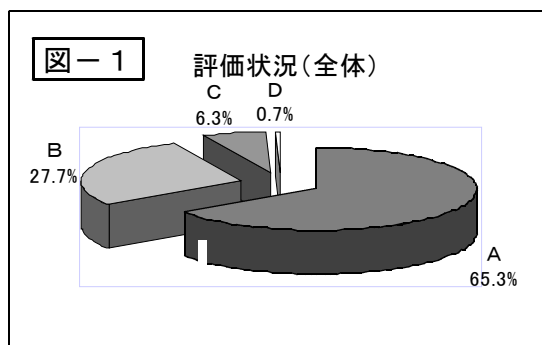
(4) 評価結果

「A（順調）」と評価されたものが486事業（65.3%）、「B（概ね順調）」とされたものが206事業（27.3%）、「C（要見直し）」とされたものが47事業（6.3%）、「D（抜本的な見直し）」とされたものが5事業（0.7%）となった。

表－1 主要事業の評価結果について

| 評価 | 基本目標 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 合計 | 比率 |
|------|-----------|-------------|------------|-------------|-------------|---------------|--------------|------------|-----|--------------------|
| | | にぎわい・感動とくしま | 経済・新成長とくしま | 安全安心・実感とくしま | 環境首都・先進とくしま | みんなが主役・元気とくしま | まなびの邦・育みとくしま | 宝の島・創造とくしま | | |
| 主要事業 | A 順調 | 58 | 80 | 114 | 56 | 53 | 55 | 70 | 486 | 65.3% (47.2%) |
| | B 概ね順調 | 38 | 39 | 31 | 30 | 17 | 26 | 25 | 206 | 27.7% (46.3%) |
| | C 要見直し | 7 | 8 | 5 | 14 | 2 | 3 | 8 | 47 | 6.3% (5.7%) |
| | D 抜本的な見直し | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 5 | 0.7% (0.8%) |
| | 合計 | 103 | 128 | 151 | 100 | 72 | 84 | 106 | 744 | 100.0% (100.0%) |

※ 比率の欄の（ ）内は、昨年度に実施した評価結果の比率である



(5) 「いけるよ！徳島・行動計画」基本目標別 主な評価と意見(抜粋)

基本目標1 にぎわい・感動とくしま

| 項目 | 主要事業名・事業概要・数値目標 | 評価 | 評価意見 |
|----|--|----|---|
| 1 | <p>●「おもてなしの国とくしま」づくりの推進 観光地の魅力を向上させるため、主要幹線道路の整備によるアクセス向上に加え、観光客が安心して楽しく訪問できる案内標識の整備・多言語表記等、観光地の魅力を向上させる新たな施策を推進します。</p> <p>○観光地等への案内標識の設置基数 [21] - →[26]40基</p> <p>○案内標識の多言語表記への変更済地域数 [21] - →[26]8地域</p> <p>○木製(間伐材)ガードレール等の設置延長 [21]4,743m→[26]7,000m ほか</p> | A | <p>観光地等への案内標識の設置や多言語化などの目標を掲げ、いずれも順調に進んでいることから、A評価とした。</p> <p>木製ガードレールは、景観にも良い取組みなので、今後とも積極的に取り組んで欲しい。</p> <p>・H24実績20基(H24目標20基) ・H24実績5地域(H24目標4地域) ・H24実績7,231m(H24目標6,000m)</p> |
| 2 | <p>●空港の利用促進 エアポートセールスを推進し、定期航路の新規開設を図るとともに、徳島を発着する航空路線の利便性向上、ターミナルビルにおけるイベント開催によるにぎわい創出などにより、「徳島阿波おどり空港」の利用を促進します。</p> <p>○定期航路の新規開設 [26]開設</p> | B | <p>国際定期チャーター便等の定期航路の新規開設が最終目標であるが、香港からの臨時チャーター便の就航や徳島・東京線が1往復増便して過去最高の10往復となったことなどから、B評価とした。</p> |
| 3 | <p>●e-とくしま推進プランの推進 ICTを活用し、地域の特性を活かした情報発信に関するコンテストを開催し、県内コンテンツ産業振興につながる、優秀な人材を発掘育成するとともに、優秀なクリエイターの情報を発信することで、デジタルコンテンツについての普及啓発を図ります。</p> <p>○ICTとくしま大賞応募数 [21] - →[26]100件 ほか</p> | C | <p>ICT(愛して)とくしま大賞について、平成24年度は、応募作品のレベル向上は見られるが、応募総数が前年度より後退している。</p> <p>ICTとくしま大賞を県民に対し更に周知し、その定着を図ることが必要である。</p> <p>・H23実績94件(H23目標30件) ・H24実績37件(H24目標50件)</p> |
| 4 | <p>●観光立県とくしまの実現 「徳島県観光振興基本計画」に基づき、官民一体となって観光振興の取組を推進し、「観光立県とくしま」の実現を目指します。</p> | C | <p>観光振興基本計画に掲げられている高い目標に、まだまだ達していない。本年の日経リサーチによる地域ブランド力調査でも、徳島は四国の中で一番低い。</p> <p>個々の施策を実施するだけでなく、首都圏や関西圏で徳島の観光に関する認知度アンケート調査を行うなどして、「観光立県とくしま」がどこまで浸透しているか、施策の効果を検証することが重要ではないか。</p> |

基本目標2 経済・新成長とくしま

| 項目 | 主要事業名・事業概要・数値目標 | 評価 | 評価意見 |
|----|---|----|--|
| 1 | <p>●雇用の場の確保 生活の基盤として何より重要な働く場を確保するため、成長分野や福祉分野などの雇用創出に積極的に取り組みます。</p> <p>○徳島県有効求人倍率(年平均) [21]0.60倍→[26]1.00倍</p> | A | <p>数値目標である有効求人倍率は目標に達しており、A評価とするが、西部や南部の求人倍率は中央に比較し、依然として低いので、地域間格差を解消することが必要である。</p> <p>また、緊急雇用などで一時的に有効求人倍率が上がるということはあるが、最終的には、正規雇用につながるよう取り組んで欲しい。</p> <p>・H24実績0.89倍(H24目標0.85倍)</p> |
| 2 | <p>●産業のグローバル化への対応・支援 成長著しい中国における本県企業の販路開拓及び本県への観光誘客を促進するため、「とくしま・中国グローバル戦略」に基づき、上海事務所を活用した中国市場の情報収集・提供や相談対応を行うとともに、商談機会の拡大や中国企業と本県企業との交流を推進します。</p> <p>○中国企業等との商談機会提供数 [21]140件→[26]700件 ほか</p> | B | <p>商談機会の提供数が数値目標となっており、目標は達しているが、その結果として、商談が成立したかどうかという成果もしっかり把握することが必要ではないか。</p> <p>・H24実績669件(H24目標600件)</p> |
| 3 | <p>●環境への負荷の少ない「農林水産業」の推進 化学肥料・化学農薬の使用低減や施設園芸等の省エネ・省コスト・省CO2技術の導入に取り組む生産者を育成・支援します。</p> <p>○エコファーマー認定数 [21]1,164人→[26]1,500人</p> | C | <p>数値目標であるエコファーマー認定数が目標設定時であるH21をも下回っていることから、C評価とした。</p> <p>農業就業者自体が減ってきていることを考えると、やむを得ない面もあるが、今後は人数よりもその質を上げることを目標としてはどうか。</p> <p>・H24実績1,033人(H24目標1,400人)</p> |
| 4 | <p>●中小企業への支援 経営支援等に関する情報提供、電子商取引の取組への支援などにより、県内中小企業のICT化による経営変革を促進します。</p> <p>○eコマースサイト(中小企業支援機関の運営)への出店企業数(累計) [21]79社→[26]100社</p> | D | <p>数値目標であるeコマースサイトへの出店企業数が目標に達しておらず、昨年度とほぼ横ばいとなっている。</p> <p>また、eコマースのサイトについては民間にも多数あり、県が行う必要があるのか疑問であることから、D評価とした。</p> <p>・H23実績79社(H23目標85社) ・H24実績80社(H24目標90社)</p> |

基本目標3 安全安心・実感とくしま

| 項目 | 主要事業名・事業概要・数値目標 | 評価 | 評価意見 |
|----|---|----|---|
| 1 | <p>●災害時等における初動体制の充実等 携帯電話を活用した安否確認サービス「すだちくんメール」を提供し、災害時に地域住民が相互に安否情報を共有できる体制を構築するとともに、企業や自治体が職員の参集情報を共有できる体制を構築し、災害の迅速な初動体制の確立を図ります。</p> <p>○すだちくんメール登録者数(累計) [21] - →[26]30,000人 ほか</p> | A | <p>災害時の初動体制において、互いの安否確認は大変重要であり、数値目標であるすだちくんメール登録者数が目標を達成していることからA評価とした。</p> <p>今後とも、登録の簡素化など、県民が一層使いやすいものとなるように取り組んでもらいたい。</p> <p>・H24実績 20,079人(H24目標20,000人)</p> |
| 2 | <p>●防災施設等の整備 公共施設の老朽化に備え、必要な機能を維持しつつ、将来の改良・更新コストを抑制するため、構造物の長寿命化計画策定を推進します。</p> <p>○長寿命化計画策定済み施設数 [21]693施設→[26]900施設</p> <p>○水産物供給基盤機能保全計画策定済漁港数 [21]2漁港→[26]13漁港</p> | B | <p>数値目標のうち、漁港数が目標に達していないことからB評価とした。</p> <p>長寿命化計画策定済み施設数は最終年度の目標を既に達成しているが、今後は、その対象施設をトンネルなどに拡大していったらどうか。</p> <p>・H24実績 911施設(H24目標800施設)</p> <p>・H24実績 10漁港(H24目標11漁港)</p> |
| 3 | <p>●安全で安心できる医療の確保 県民の医療に対するニーズの増大に対応するため、看護職員の養成及び県内定着促進・離職防止、再就業の支援等を行い、需要に見合った看護職員の確保を図るとともに、資質向上に取り組めます。</p> <p>○看護職員従事者数(常勤換算) [21]11,610人→[26]12,640人</p> | C | <p>数値目標である看護職員従事者数が目標を達成していないことから、C評価とした。</p> <p>なお、看護職員は離職率が高いが、定着させるための対策などについて、更なる取組が必要である。</p> <p>・H24実績 11,816人(H24目標12,160人)</p> |
| 4 | <p>●木造住宅等の耐震化促進 特定の民間建築物(一定要件の病院・劇場・百貨店・マンション等)の耐震化を目的として、耐震診断、耐震改修などに対し、事業主体である市町村に助成を行います。</p> <p>○補助金交付要綱策定市町村数(累計) [21]5市町村→[26]24市町村</p> | D | <p>南海トラフ巨大地震などの大災害による被害者を減らすために、早急に取り組むべき課題であるが、H24の目標に対して2分の1の市町村しか達成できていないことから、D評価とした。</p> <p>・H23実績 7市町村(H23目標12市町村)</p> <p>・H24実績 9市町村(H24目標18市町村)</p> |

基本目標4 環境首都・先進とくしま

| 項目 | 主要事業名・事業概要・数値目標 | 評価 | 評価意見 |
|----|---|----|---|
| 1 | <p>●生物多様性の確保 民間の協力を基に、県南地域の自然林から採集した広葉樹の種子を育苗・植樹して自然再生を目指す「どんぐりプロジェクト」を推進します。</p> <p>○「どんぐりプロジェクト」による育苗本数（累計） [21]31,000本 →[26]46,000本</p> | A | <p>数値目標である「どんぐりプロジェクト」による育苗本数が目標を達しており、また、育苗や植樹の事業資金について民間の資金を活用するなど積極的に行われていることからA評価とした。</p> <p>・H24実績 40,000本(H24目標40,000本)</p> |
| 2 | <p>●生態系に配慮した野生鳥獣の適正管理 外来種についての基礎調査を行うことにより、生態系の保全や農林水産業への被害の防止を推進します。</p> <p>○特定外来種(アライグマ・アルゼンチンアリ・オオクチバス・ブルーギル等)の生息状況を明らかにするための調査 [23]～[26]毎年調査</p> | B | <p>関係機関とも連携しながら、今後も、継続的な生息調査を実施して欲しい。</p> <p>また、調査だけでなく、その結果を踏まえて、駆除についてもしっかりと取り組んで欲しい。</p> <p>・H24実績:調査(H24目標:調査)</p> |
| 3 | <p>●廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進 産学民官で構成する「とくしま環境県民会議」を中心に市町村や民間企業と連携して、マイバッグ持参の拡大を図り、ライフスタイルの転換を目指す「レジ袋ゼロの日・推進事業」に取り組みます。</p> <p>○「レジ袋ゼロの日・推進事業」への取組市町村数 [21]3市町村→[26]18市町村</p> | C | <p>数値目標である取組市町村数が昨年度から増えておらず、目標に達していないことから、C評価とした。日常生活に直結した活動として大切な取組であることから、最終年度には目標を達成するように、積極的に取り組んで欲しい。</p> <p>・H24実績 6市町村(H24目標10市町村)</p> |
| 4 | <p>●廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進 廃棄物の発生抑制・リサイクル促進のための普及啓発活動を行います。</p> <p>○リサイクル率(一般廃棄物) [20]18.9%→[27]28%</p> <p>○1人1日当たりのごみ排出量 [20]994g→[27]858g</p> <p>○最終処分率(産業廃棄物) [20]4.5%→[27]3.3%</p> | C | <p>数値目標の実績が2年後でないと分からないことから、数値目標として活用することができない。</p> <p>別の数値目標の設定も検討してみる必要があるのではないかと。</p> <p>○リサイクル率(一般廃棄物) [23]18.1% [24]集計中</p> <p>○1人1日当たりのごみ排出量 [23]968g [24]集計中</p> <p>○最終処分率(産業廃棄物) [23][24] 未集計(5年毎に調査)</p> |
| 5 | <p>●きれいな水環境づくりの推進 浄化槽の適正な維持管理のため一括契約制度の普及に取り組み、導入意欲のある市町村を支援し、導入を加速します。</p> <p>○「浄化槽維持管理一括契約制度」導入市町村数 [21] — →[26]10市町村</p> | C | <p>数値目標である導入市町村数が、昨年に引き続き目標に達していないことから、C評価とした。一層積極的に取り組んで欲しい。</p> <p>・H23実績 1市町村(H23目標3市町村)</p> <p>・H24実績 2市町村(H24目標5市町村)</p> |

基本目標5 みんなが主役・元気とくしま

| 項目 | 主要事業名・事業概要・数値目標 | 評価 | 評価意見 |
|----|--|----|---|
| 1 | <p>●地域福祉のリーダーの養成 高齢者の生きがいがづくりを推進するとともに、本県のような魅力等を発信できる人材を養成します。</p> <p>○高齢者における観光ボランティアガイドの養成者数(累計) [21] - →[26]120人</p> | A | <p>観光ボランティアガイドの養成が、順調に進んでいることからA評価とした。</p> <p>なお、育成したボランティアガイドの活用度を計る指標の設定も必要ではないか。</p> <p>・H24実績60人(H24目標60人)</p> |
| 2 | <p>●子育て機能の向上 仕事と子育ての両立を支援するため、「ファミリー・サポート・センター」の設置を促進するとともに、設置が困難な市町に対する本県独自の工夫を盛り込み、「ファミリー・サポート・サービス」を全県に整備します。</p> <p>○「ファミリー・サポート体制」整備市町村数 [21]13市町村→[26]全市町村</p> | B | <p>数値目標である「ファミリー・サポート体制」整備市町村数が昨年から増加していないことから、B評価とした。地域子育て応援団とも連携して、安心して使える拠点にしていってほしい。</p> <p>・H23実績 18市町村(H23目標18市町村)</p> <p>・H24実績 18市町村(H24目標20市町村)</p> |
| 3 | <p>●「生涯現役」の「元気高齢者づくり」の推進 県健康福祉祭等の充実により、高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図ります。</p> <p>○県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会の参加者数 [21]2,464人→[26]4,000人</p> | B | <p>数値目標である参加者数が目標に若干不足しているため、B評価とした。スポーツ及び文化交流大会の種目数を増やすことによって、より多くの人が参加できるように工夫してはどうか。</p> <p>・H24実績3,187人(H24目標3,400人)</p> |
| 4 | <p>●「ワーク・ライフ・バランス」の展開 企業等に対しセミナーやアドバイザー派遣などを行い、事業所内保育施設の設置をはじめ、仕事と子育て等が両立できる環境整備の取組を支援するとともに、両立支援に積極的な企業等を認証することにより、企業等における次世代育成の取組を促進します。</p> <p>○「はぐくみ支援企業」認証事業所数(累計) [21]84事業所→[26]200事業所</p> | C | <p>2年連続で数値目標を達成できていないことから、C評価とした。</p> <p>もっと企業がメリットを実感できるような施策が必要ではないか。</p> <p>・H23実績118事業所 (H23目標125事業所)</p> <p>・H24実績134事業所 (H24目標150事業所)</p> |
| 5 | <p>●介護基盤の整備 介護サービス従事者の研修等を通じ、介護サービスの質の向上を図ります。</p> <p>○介護サービス従事者の研修参加者数 [21]4,394人/年→[26]5,100人/年</p> <p>※地域の核となるリーダー的人材の育成を重視し、H25から数値目標を「介護サービス指導者の養成研修参加者数」に変更した。 [26]250人/年</p> | C | <p>民間事業者等による従事者研修が増加していることもあり、2年連続で数値目標を達成できていないことから、C評価とした。なお、平成25年度から数値目標を指導者研修参加者数としており、今後の取組に期待したい。</p> <p>・H23実績3,726人 (H23目標4,550人)</p> <p>・H24実績3,998人 (H24目標4,700人)</p> |

基本目標6 まなびの邦・育みとくしま^{くに}

| 項目 | 主要事業名・事業概要・数値目標 | 評価 | 評価意見 |
|----|--|----|---|
| 1 | <p>●確かな学力の育成 子どもの読書活動推進計画に基づき、県内全域で読書習慣の定着を図ります。</p> <p>○家や図書館で1日10分以上本を読む児童生徒の割合 小5 [21]66.0%→[26]77.2% 中2 [21]55.5%→[26]67.6%</p> | A | <p>家や図書館で1日10分以上本を読む児童生徒の割合が、昨年度は目標を下回っており、C評価としたが、H24は、「読書の生活化プロジェクトⅢ」等に重点的に取り組み、目標を大きく上回っていることからA評価とした。</p> <p>・H23実績 小5～70.1%（目標74.2%） 中2～58.1%（目標64.6%）</p> <p>・H24実績 小5～90.8%（目標75.2%） 中2～83.6%（目標65.6%）</p> |
| 2 | <p>●食育の推進 栄養教諭が中核となって全公立小・中学校での食に関する指導を充実し、徳島ならではの魅力ある食育を推進します。</p> <p>○栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施校数 [21]129校→[26]全公立小・中学校</p> | B | <p>食育の推進は重大な課題であるが、数値目標である栄養教諭等による食に関する指導実施校数が、目標を若干下回っていることから、B評価とした。</p> <p>最終年度の目標である全小・中学校での実施に向け、計画的に進めて欲しい。</p> <p>・H24実績 213校（H24目標220校）</p> |
| 3 | <p>●特別支援教育の推進 特別支援教育の充実を図るため、教員の専門性向上に取り組みます。</p> <p>○特別支援学校に勤務する教諭の特別支援学校教諭免許状保有率 [21]73%→[26]80%</p> | C | <p>昨年に引き続きC評価であるが、免許状の保有率が伸びない理由がどこにあるのかを分析するとともに、免許取得のメリットを打ち出していく必要があるのではないかと。</p> <p>・H23実績71.5% ・H24実績74.2%（H24目標80%）</p> |
| 4 | <p>●安全・安心な学校づくり 地域住民の積極的な参加による防犯・交通安全・防災の総合的な学校安全ボランティア活動の支援を行い、幼児・児童生徒の安全確保を図る取組を継続的に推進します。</p> <p>○あん・あんサポーター（スクールガードリーダー等を核とした学校安全ボランティア）の登録数 [21] — →[26]12,000人</p> <p>○地域住民参加の防災訓練実施数 [21] — →[26]全小・中・高校で実施ほか</p> | C | <p>数値目標のうち「あん・あんサポーターの登録数」について、H24の目標に達していない。</p> <p>また、「地域住民参加の防災訓練実施数」については、年度ごとの目標はないが、全校での実施という最終年度の目標に対して、現在実績が、約3割となっており、一層の奮起を期待して、C評価とした。</p> <p>・H24実績 9,400人（H24目標10,000人）</p> <p>・H24実績99校</p> |

基本目標7 宝の島・創造とくしま

| 項目 | 主要事業名・事業概要・数値目標 | 評価 | 評価意見 |
|----|---|----|--|
| 1 | <p>●男女共同参画の推進 県庁女性職員の県政運営への参画を推進します。</p> <p>○女性役付職員数 [22]230人→[27]300人</p> | A | <p>数値目標の女性役付職員については、順調に増えてきており、また、今年度(H25.4.1)の定期人事異動においては、310人と最終目標を達成していることから、A評価とした。</p> <p>・H24実績287人</p> |
| 2 | <p>●「とくしまマラソン」による魅力発信 県民のスポーツ振興や青少年の健全育成を図るとともに、本県の魅力や県民挙げての「おもてなしの心」を全国に情報発信できる「とくしまマラソン」の第5回大会を記念大会として開催するなど、「進化する大会」としてさらなるにぎわいづくりを実現します。</p> <p>○全国有数規模(1万人以上)の大会の開催 [24]開催</p> | A | <p>募集定員は1万人を超え、春の徳島の中心的なイベントとして非常に大きく進化してきている。参加者のマナー向上などにも力を入れ、さらに魅力的なイベントに育てて欲しい。</p> <p>また、県外からの参加者の増加が宿泊者の増加に結びつくよう一層工夫して欲しい。</p> <p>・H24募集定員(10,000人)</p> |
| 3 | <p>●魅力ある地域づくりの推進 「ふるさと納税制度」を通じて、県内外に「ふるさと徳島」の魅力を一層アピールするとともに、県出身者など本県ゆかりの方々との連携をさらに強化し、活力と魅力あふれる徳島づくりを進めます。</p> | B | <p>ふるさと納税について具体的な数値目標が設定されていないが、制度の積極的なPR等を通じて、寄附の確保に努めていることから、B評価とした。</p> |
| 4 | <p>●NPO・ボランティアとの連携・協働 耕作放棄地の解消を目指し、企業、大学、NPO法人など多様な参画による「耕作放棄地・活用し隊(仮称)」制度を創設し、再生・営農・販売等を支援するため「モデル圃場」を県内各地に設置します。</p> <p>○ボランティア登録数(累計) [21] - →[26]200人 ほか</p> | C | <p>数値目標であるボランティア登録数が、2年連続で目標に達していないことから、C評価とした。耕作放棄地の解消に向け官民一体となって頑張ってもらいたい。</p> <p>・H23実績15人(H23目標50人) ・H24実績87人(H24目標100人)</p> |
| 5 | <p>●公正で公平な県政の推進 公平・公正な職務執行の確保のため、「コンプライアンス基本方針」に基づき、職員自らの企画・提案による取組を推進し、「職員倫理意識の徹底」、「内部チェック機能の充実強化」を図ります。</p> | D | <p>不祥事根絶のため様々な取組をしているにも関わらず、不祥事が発生しており、昨年度に続いてD評価とした。</p> <p>コンプライアンスの問題は結果が全てであり、一つの不祥事で全ての信用を失うこともあり得る。</p> <p>公務員には高い倫理意識が求められており、改めて組織として検証が必要である。</p> |

3 県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

| | 提言先 | 項目 | 意見・提言の内容 |
|---|-----|-------------------|---|
| 1 | 目安箱 | 阿波踊りUstream配信 | 鳴門市と徳島市阿波踊り開催期間中に、CATVで生放送している内容を、そのままインターネットへUstream配信等できないか。インターネット配信すれば、県外、世界中で見ることになり、徳島県と阿波踊りのPRになると思う。 |
| 2 | 目安箱 | 徳島県にも通称を | 香川県は、うどん県という通称をつけているが、徳島県も阿波踊り県かLED県などのような通称を付けてはどうか。 |
| 3 | 目安箱 | すだちくん20年 | すだちくんが東四国国体のマスコットとなって来年で20年になる。20歳になるすだちくんの成人式を催してはどうか。 |
| 4 | 目安箱 | 通学自転車のオートライト義務化へ | 無灯火の通学者をよく見かけるので、通学にオートライト自転車を義務化して欲しい。オートライトであれば、故障しない限り、無灯火による事故は防げるはずである。 |
| 5 | 目安箱 | 野菜摂取量の増加のための「徳島鍋」 | 徳島県は、産地でありながら野菜摂取量が低い県である。野菜摂取量増加のために徳島県産の野菜、肉、魚介などを利用した「徳島鍋」のレシピを公募して、徳島の食材の魅力再発見と野菜1日350g食べるという啓発活動を行ってはどうか。 |
| 6 | 目安箱 | 自転車レースの開催 | 徳島だけでなく四国四県を巻き込んだツールドフランスのような自転車レースを提案する。年ごとにスタート地点を持ち回りにして、名所巡りやチェックポイントには名産品のフードコート等を設置し、1日1県の比較的のんびりしたものにしてはどうか。 |
| 7 | 目安箱 | 道路(通り)や交差点に名前を | 徳島県内の国道をはじめ、県道や市道又は交差点には名前がほとんどついていないため、事故などの非常時の通報や道案内をする際に非常に困る。各道路とせめて交差点くらいに名前がついて案内板が出て良いのではないか。 |
| 8 | 目安箱 | 未利用農地 | 農地は、食料自給率、食の安全等の点から保護しないとイケない面があるが、公共性の高い環境エネルギー、電気自動車の充電スタンド、携帯の基地局などの設置については、農地利用の規制を緩和してはどうか。 |
| 9 | 目安箱 | 橋の博物館とくしま | 橋の博物館とくしまがHPに掲載されたが、こうした橋は徳島の地域資源である。「橋の博物館とくしま」の碑文や橋の歴史を紹介するものを設置し、廻って楽しめるようにしてはどうか。 |

| | 提言先 | 項目 | 意見・提言の内容 |
|----|-----------|-------------------------|---|
| 10 | 目安箱 | 「徳島県立農林水産総合技術支援センター」の略称 | 「徳島県立農林水産総合技術支援センター」が本年発足したが、名称が18字あり、所属する者も県民も呼ぶにはあまりにも長すぎて困惑していると思われる。略称を決めて運用してはどうか。 |
| 11 | 目安箱 | 県の公式HPにリンクバナーの設置 | 徳島県公式ホームページに、リンクバナーを置いてはどうか。 |
| 12 | 知事・市町村長会議 | 小水力発電（再生可能エネルギー） | 小さな溪流とか用水路に余っている水を有効利用して小水力発電に取り組むために、大学や県の研究機関で技術開発をお願いしたい。 |
| 13 | 知事・市町村長会議 | 市民参加型の一斉震災対策訓練 | 米国では「シェイクアウト」という広い地域が一体となった、一斉の避難訓練が行われているという。徳島県でも、南海地震を想定して、徳島県挙げての一斉避難訓練「シェイクアウト」をぜひ実施してほしい。 |
| 14 | わくわくトーク | 徳島県に女子のプロサッカーチームを | 男子のサッカーは、徳島ヴォルティスが四国で最も早くJリーグに参加した。ぜひ、女子のサッカーも将来なでしこリーグに昇格できるようにプロチームを地元で作って欲しい。 |

4 参考

県政運営評価戦略会議 委員名簿

| | 氏 名 | 現 職 等 |
|-----|--------|-----------------------|
| 会 長 | 石田 和之 | 徳島大学大学院 准教授 |
| 副会長 | 阿部 頼孝 | 徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部 教授 |
| 委 員 | 井関 佳穂理 | 公認会計士 |
| 〃 | 坂本 真理子 | NPO法人郷の元気 副代表理事 |
| 〃 | 佐和 良佳 | 美馬市社会福祉協議会 事務局長 |
| 〃 | 田村 耕一 | (公財)徳島経済研究所 専務理事 |
| 〃 | 土佐 和恵 | 松茂農業協同組合 女性部長 |
| 〃 | 南波 浩史 | 徳島文理大学 教授 |
| 〃 | 橋本 延子 | 女性林業研究グループ「那賀川こまち」 会長 |
| 〃 | 浜口 伸一 | (株)ハマグチ 代表取締役 |
| 〃 | 濱口 英代 | 和田島漁業協同組合 参事 |
| 〃 | 福島 明子 | 四国大学 講師 |
| 〃 | 藤原 学 | 四国労働金庫 徳島営業本部 常務理事 |
| 〃 | 森本 長生 | (株)道の駅日和佐 駅長 |